

2013年10月11日

小田急電鉄株式会社
富士急行株式会社

小田急ロマンスカー20000形車両の富士急行への譲渡について

小田急電鉄株式会社(本社:東京都新宿区、社長:山木 利満)と富士急行株式会社(本社:山梨県富士吉田市、社長:堀内 光一郎)では、小田急電鉄の特急ロマンスカー20000形1編成を富士急行へ譲渡することで合意しました。

1991年にデビューした小田急ロマンスカー20000形(愛称:^{アルミスイ}RSE)は、2編成製造され、JR東海御殿場線へ乗り入れる「あさぎり号」としての運用を中心に活躍し、昨年3月をもって営業運転を終了しました。今回、2編成のうち、1編成を富士急行へ譲渡するものです。

富士急行では、今後、現在運転している「フジサン特急」用の後継車両として、7両編成から3両編成に改造し、2014年夏を目指し、富士急行線大月～河口湖間を結ぶ車両として運行する計画です。

<譲渡車両の概要>

1. 車両形式 小田急電鉄 特急ロマンスカー20000形(RSE)
2. 編成数 1編成(7両)
3. 譲渡期日 2013年11月11日



<小田急ロマンスカー20000形(RSE)>

以上

【参考】

小田急ロマンスカー20000形の概要

- (1)車両形式 20000形
- (2)愛称 フルエスイー
RSE
- (3)編成 7両固定編成
- (4)製造両数 2編成14両
- (5)編成定員 402名

20000形は、小田急線とJR東海御殿場線との相互直通運転に使用する車両として、1991年3月16日に営業運転を開始し、「あさぎり号」としての運用を中心に活躍しました。2階建て車両(ダブルデッカー)や特別席(スーパーシート・グリーン席)の設置が特徴です。

"Resort Super Express" (RSE)の愛称で親しまれてきましたが、2012年3月15日をもって営業運転を終了しました。

1992年には鉄道友の会から贈られる「ブルーリボン賞」を受賞しています。